

特色選抜 [入学者選抜における求める生徒像・選抜方法]

学校番号	学校名	課程	学科・コース	募集定員 (特色＋一般)
31	豊見城南	全日	普通科・普通コース	120
求める生徒像・選抜において重視する観点	<p>【求める生徒像(アドミッションポリシー)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊見城南高校の特色を理解し、本校への入学の意志が強い生徒 ○基本的な生活習慣が身に付いており、ルールやマナーを守り主体的に学校生活を送れる生徒 ○希望進路や将来の目標について考え、その実現のために意欲的に学習に取り組む生徒 ○部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動等に積極的に取り組む生徒 ○自らの成長と可能性を信じ、新たなことにチャレンジをしようとする生徒 <p>【選抜において重視する観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣及び基礎学力が身に付いている。 ○自らの可能性と成長を信じ、新たなことにチャレンジしようとする意欲がある。 ○自分の好きなことや熱中できることを見つけ、そのことに積極的に取り組もうとする意志がみられる。 			
選抜項目・検査方法・配点	募集定員 (特色選抜)	24名		
選抜項目・検査方法・配点	<p>【各選抜項目における配点】 <u>計 550 点</u></p> <p>1. 学力検査 <u>250 点</u> 【50点満点】×5(教科)=250点満点 ※【50点満点】：一般選抜の学力検査(各教科配点60点)のうち、思考力等を問う記述式問題を除いたもの。</p> <p>2. 調査書 <u>265 点</u></p> <p>ア. 教科の評定 165点 音楽・美術・保健体育・技術家庭の評価を1.5倍に換算して加算する。</p> <p>イ. 特別活動 50点 生徒会活動、学級活動、学校行事、生徒会役員、学級役員などリーダー的活動のうち、校内外を問わず最上位1項目を別紙1に基づき加算する(調査書の記載内容から判断)。 ※校外の活動については、実績を証明するものが必要。</p> <p>ウ. 部活動・資格取得等 50点 九州(全国)大会出場、県大会出場、その他顕著な活動のうち、最上位1項目を別紙2に基づき加算する。 また、部長は5点を加算する。(50点満点の範囲内で加算。最大得点は50点) ※大会等の実績については、賞状など証明するものが必要。</p> <p>3. 面接 <u>35 点</u></p> <p>ア. 面接方法 個人面接</p> <p>イ. 面接委員の構成 1組2名</p> <p>ウ. 所要時間 1人10分程度(自己アピール3分、質問7分)</p> <p>エ. 面接内容 自己アピール：(例)自分の好きなこと／熱中していること／入学後頑張りたいこと 等 自己アピールの方法：掲示物・パワーポイントも可。 ただし、デバイス(スマートフォン、タブレット等)は受検生自身で準備すること。 質問：志望理由／将来の進路希望／高校生活の抱負／中学校での活動状況／ 自己アピールの内容について その他</p> <p>オ. 評価の観点 応答内容(具体的かどうか)／態度・言葉遣い／服装容儀 等</p> <p>上記1から3を基に、調査書の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し、選抜する。</p>			
備考等	<p>1. 「選抜項目・検査方法・配点 2. 調査書」における「イ. 特別活動」「ウ. 部活動」の配点については、別紙で定める。</p> <p>2. 出願要件：次のア～エの要件をすべて満たしていること。 ア. 特別活動または部活動・資格取得等において自己アピールするものがある。 イ. 中学校3年間の評定平均が3.0以上である。 ※〈算出方法〉 評定平均=(1年～3年までの全科目の評定の合計)÷27 (小数第2位を四捨五入) ウ. 3年次の各教科評定が2以上である。 エ. 中学校3年間の無届欠席の合計が6回以下である。</p> <p>3. 実績を証明するものについては、以下の2点に注意すること。 ア. それぞれの実績について、A4版3ページまでとする。 イ. 団体競技の場合、当該競技のメンバー表も提出(アに含む)すること。</p>			

特色選抜 [入学者選抜における求める生徒像・選抜方法]

学校番号	学校名	課程	学科・コース	募集定員 (特色＋一般)
31	豊見城南	全日	普通科・特進コース	40
求める生徒像・選抜において重視する観点	<p>【求める生徒像(アドミッションポリシー)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊見城南高校の特色を理解し、本校への入学の意志が強い生徒 ○基本的な生活習慣が身に付いており、ルールやマナーを守り主体的に学校生活を送れる生徒 ○希望進路や将来の目標について考え、その実現のために意欲的に学習に取り組む生徒 ○部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動等に積極的に取り組む生徒 ○自らの成長と可能性を信じ、新たなことにチャレンジをしようとする生徒 <p>【選抜において重視する観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣及び基礎学力が身に付いている。 ○自らの可能性と成長を信じ、新たなことにチャレンジしようとする意欲および大学進学への意欲がある。 ○大学進学等を目指して、主体的かつ粘り強く学習に取り組むもうとする意志がみられる。 			
選抜項目・検査方法・配点	募集定員 (特色選抜)	8名		
選抜項目・検査方法・配点	<p>【各選抜項目における配点】 <u>計 600 点</u></p> <p>1. 学力検査 <u>300 点</u> 各教科【50点満点】×1.2(倍)=60点満点に換算 60点満点×5(教科)=300点満点 ※【50点満点】:一般選抜の学力検査(各教科配点60点)のうち、思考力等を問う記述式問題を除いたもの。</p> <p>2. 調査書 <u>265 点</u> ア. 教科の評定 165点 音楽・美術・保健体育・技術家庭の評価を1.5倍に換算して加算する。 イ. 特別活動 50点 生徒会活動、学級活動、学校行事、生徒会役員、学級役員などリーダー的活動のうち、校内外を問わず<u>最上位1項目</u>を別紙1に基づき加算する(調査書の記載内容から判断)。 ※校外の活動については、実績を証明するものが必要。 ウ. 部活動・資格取得等 50点 九州(全国)大会出場、県大会出場、その他顕著な活動のうち、<u>最上位1項目</u>を別紙2に基づき加算する。 また、部長は5点を加算する。(50点満点の範囲内で加算。最大得点は50点) ※大会等の実績については、賞状など証明するものが必要。</p> <p>3. 面接 <u>35 点</u> ア. 面接方法 個人面接 イ. 面接委員の構成 1組2名 ウ. 所要時間 1人10分程度(自己アピール3分、質問7分) エ. 面接内容 自己アピール:(例)自分の好きなこと/熱中していること/入学後頑張りたいこと 等 自己アピールの方法:掲示物・パワーポイントも可。 ただし、デバイス(スマートフォン、タブレット等)は受検生自身で準備すること。 質問:志望理由/将来の進路希望/高校生活の抱負/中学校での活動状況/ 自己アピールの内容について その他 オ. 評価の観点 応答内容(具体的かどうか) /態度・言葉遣い/服装容儀 等</p> <p>上記1から3を基に、調査書の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し、選抜する。</p>			
備考等	<p>1. 「選抜項目・検査方法・配点 2. 調査書」における「イ. 特別活動」「ウ. 部活動」の配点については、別紙で定める。</p> <p>2. 出願要件:次のア～エの要件をすべて満たしていること。 ア. 特別活動または部活動・資格取得等において自己アピールするものがある。 イ. 中学校3年間の評定平均が3.5以上である。 ※〈算出方法〉評定平均=(1年～3年までの全科目の評定の合計)÷27 (小数第2位を四捨五入) ウ. 3年次の各教科評定が2以上である。 エ. 中学校3年間の無届欠席の合計が6回以下である。</p> <p>3. 実績を証明するものについては、以下の2点に注意すること。 ア. それぞれの実績について、A4版3ページまでとする。 イ. 団体競技の場合、当該競技のメンバー表も提出(アに含む)すること。</p>			

【別紙1】

特別活動 等

得点	役員 等	活動 等
50	・ 生徒会長、生徒会副会長 等	・ 全県的レベルで評価された活動
30	・ 生徒会役員、学校行事の役員、HR長、副HR長 等	・ 地域的レベルで評価された活動
10	・ 学級役員（書記・会計・出席係等） 等	・ 学校内において評価された活動
5	・ 上記以外	・ 上記以外

【別紙2】

部活動／資格取得

得点	部活動		資格取得
	体育系	文化系	
50	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県代表全国九州出場 ・ 県大会ベスト4以上 ・ 各競技団体が主催する県選抜選手 * その他同等の実績 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県代表全国九州大会出場 ・ 県レベルの金賞・最優秀賞・優秀賞 * その他同等の実績 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英検・漢検・数検・ワープロ準2級以上 ・ 硬筆・毛筆・書写検定2級 ・ 珠算段以上 ・ 空手・剣道・柔道初段以上 * その他同等の資格
30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県大会ベスト8以上 ・ 各競技団体が推薦する地区選抜選手 * その他同等の実績 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県レベルの銀賞・優良賞 ・ 地区レベルの最優秀賞・優秀賞 * その他同等の実績 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英検・漢検・数検・ワープロ3級以上 ・ 硬筆・毛筆・書写検定準2級 ・ 珠算2級以上 ・ 空手・剣道・柔道2級以上 * その他同等の資格
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区大会ベスト4以上 ・ 地区ブロック大会優勝 ・ 3年間部活動を継続した者 * その他同等の実績 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県レベルの銅賞・佳作 ・ 地区レベルの優良賞 ・ 学校代表 ・ 3年間部活動を継続した者 * その他同等の実績 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英検・漢検・数検・ワープロ4級以上 ・ 硬筆・毛筆・書写検定3級 ・ 珠算3級 ・ 空手・剣道・柔道3級以上 * その他同等の資格
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部長（主将）は、上記の得点に5点加算する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記以外の資格。